

## Pickup!① 対馬の夏の風物詩

8月1・2日の両日、厳原港で「対馬厳原港まつり」が開催されました。晴天に恵まれた今回の祭りでは、ビーチバレー大会・子どもみこし・舟グロー大会・よさこい・朝鮮通信使行列・演芸の夕べなど多彩な催しが生まれ、訪れた市民は、汗を流しながら対馬の夏を楽しみました。

また3年ぶりに行われた朝鮮通信使行列では、約300人が鮮やかな衣装を身にまとい、江戸時代に朝鮮王朝から来日した外交使節団を再現しました。



## 大自然の中で音楽を楽しむ

## Pickup!②

8月29日、美津島町の対馬グリーンパーク芝生広場で「つしま海道音楽祭」が開催されました。出演アーティストは写真左上から「パンダモンキー」さん、「ずんだれ」さん、「チキンナゲッツ」さん、「河口恭吾」さん、「Draft King」さん、「KONISHIKI」さんの6グループが出演し、夏の夜空に最高の音楽で夏休み最後の週末を楽しみました。







# ペットと暮らす 愛情と責任のある 飼い主に

9月20日から9月26日は動物愛護週間です。  
 可愛い家族の一員、ペットの飼い主として責任ある飼い方はできているでしょうか？  
 ノラネコやノライヌへの不必要な餌付けにより繁殖が拡大し、地域住民に迷惑がかかっているかもしれません。  
 可愛いだけではない、困りごとやトラブル…。誰でも一度は経験があるでしょう。  
 人も、動物も命の尊さは同じです。人が社会のルールを守ること、関心を持つことが動物愛護に繋がります。  
 この機会にペットや身近な動物について考えてみましょう。

動物愛護週間イベント  
**わんにゃんフェスティバル 2015**  
 in 豊玉総合運動公園体育館  
 (豊玉パールドーム)  
 2015年9月19日(土) 13:00～16:00  
 主催：環境省九州地方環境事務所 長崎県獣医師会对馬支部 共催：長崎県対馬振興局・対馬市

**プログラム**

13:00～	動物愛護絵画表彰式
14:00～16:00	ふれあい動物園
15:00～16:00	対州馬乗馬体験

対州馬乗馬体験の受付は 15:00 からだよ！

ふれあい動物園の受付は 14:00 からだよ！

**展示：スタンプラリーをしよう♪**

13:30～ スタンプラリースタート！

- ☆リミヤママネコ展
- ☆狂犬病ってなに？
- ☆自慢のペット写真展

スタンプラリーに参加すると自分ではんこを押して作るエコバックやミールがもらえちゃうよ！

☆ペットのお悩み相談室・ノラネコ対策についての相談室も同時開催!! ☆

- ペットを飼う心得5ヶ条**
- 10年、20年お世話できますか？
  - 食事・排せつ・病気をしたりとペットは人と同じ。動物介護も視野に。
  - 何十年とお金も必要です。
  - 社会に迷惑がかけられない飼い方ができる環境ですか？
  - 家族全員が賛成していますか？



対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会担当者代表で  
獣医師の森寛士さんに適正飼養のポイントをお伺いしました



森獣医師と愛犬クラリス(メス:8才)

● 狂犬病の予防接種は義務

狂犬病は発症すると致死率100%の恐ろしい病気です。人が感染するほとんどは、感染犬に噛まれることによりです。1年に1回の接種が義務付けられています。対馬市内の動物病院や市が実施する集団接種で行うことができます。

● 放し飼いは絶対NO!

犬の放し飼いは禁止されています。人はもちろんほかの動物や農作物への被害が出ては大変です。リードは飼い主さんの義務です。ネコは室内飼いが原則です。迷子を防ぐためにも市への登録も忘れずに。

● 無責任な餌付けは動物を不幸に

餌付けをすると民家にノラネコやノライヌが近づきます。袋を下げた関係の無い人に餌袋と違って飛び掛かるかもしれません。餌付けで健康

状態が良くなると、飼い主のいない動物がさらに増え、住民に迷惑が掛かります。生まれてきた動物もかわいそうです。

● ツシマヤマネコの保護にも影響

適正飼養されていないネコやイヌにヤマネコが襲われることがあります。イエネコからヤマネコに感染する感染症(ネコエイズ・ネコ白血病)もヤマネコの減少要因の1つになっています。ペットを適正に飼養することはヤマネコをはじめとする野生生物の保護にも繋がります。



対馬野生生物保護センター「福馬」

● 飼い主には覚悟が必要

育つ環境が良くなり、寿命15年や20年のペットも増えていきます。飼い主はその期間お世話をする覚悟が必要と言えます。どうしても飼えなくなった時は、譲渡先を探しましょう。

私の動物病院でも里親募集のポスターを掲示しています。保健所では里親ネットワーク事業も行っています。子どもが飼いたいといったのは良いけど、結局、世話が大人任せになり「大変だ、どうにかならないでしょうか」という声は少なくありません。飼い主との信頼関係がなければ、しつけも大変になります。命あるペットの一生に責任を持ちましょう。



飼い主さんにインタビュー

厳原町在住 マシャ君  
(オス7才・飼い主Tさん)

赤ちゃんの頃よりムダ吠えも無く、トイレもすぐに覚えましたが、しつけは大切だと感じます。しつけが成功する秘訣は「誉めること」。1つできたらカー一杯誉めまくりです。ダメなことはダメとメリハリも大事ですね。言葉は通じませんがちゃんと伝わるんです。決して叩きません。あとスキンシップをたくさんすることで、体の不調にも気づきやすくなります。

登録は市役所で済ませ、注射は毎年動物病院で行っています。フィラリア・マダニ・ノミ対策も欠かさないようにしています。課題は甘やかし気味なところかな…。

この子の一生を預かった以上、飼い主としての責任をしっかりと果たしたいです。

対馬市ネコ適正飼養条例があります

1. ノラネコなど飼いネコ以外のネコへの身勝手な餌付けの禁止
2. 糞尿の後始末は飼い主の責任であることの認識
3. 野外は交通事故や他のネコとの闘争によるケガ・病気感染など、危険が多いため、屋内飼育の推奨
4. 飼いネコのマイクロチップによる個体登録などです。ご確認ください。

市では飼い主不明ネコ・ノラネコの捕獲・不妊化事業に取り組みます

ノラネコの増殖を防ぐ目的で行います。ただし、地区としてネコの適正飼養に取り組み、無責任な餌やりを止めることなどが条件です。詳しくは市役所へお尋ねください。

総合政策部  
市民協働・自然共生課  
☎0920(53)6111



人も動物たちも快適な暮らしができる社会に